

復興伝える

こども新聞

岩手・小中学生創刊

岩手県野田村で小中学生が復興の様子取材して「こども新聞」を作っている。創刊号は約650部発行され、今月2日、子供記者たちが仮設住宅などに配った。

記者は村内の小学4年〜中学1年までの約15人。創刊号では「笑顔もお店も戻ってきたよ!」との見出しで、こども新聞が始まったことや、地元菓子店が復活したことを報じている。

B4判4ページで、すべて手書きだ。群馬県桐生市立境野小で編集・印刷してもらった。

こども新聞を支援している企業経営者らでつくるボランティア団体「チームともだち」(事務局・東京都渋谷区)は、福島県内でも同様のこども新聞を作ることを計画しており、デジカメなどの機器を募集している。問い合わせはチームともだち事務局(03・5778・4871)へ。



住民の声を取材する子供記者(2日、岩手県野田村で) 〓 「チームともだち」提供